

単元名 (旧)大すきな物語(絵)

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 心に残った場面の様子や自分の気持ちに合わせて、描画材を選んだり絵の具の使い方を工夫したりすることができる。
- (2) 物語の好きな場面の様子を想像し、表したいことをどのように表すか、形や色などを考えることができる。
- 作品を友達と見せ合って話し合い、よさや面白さなど表現の工夫をとらえることができる。
- (3) 物語の好きな場面の様子を想像し、工夫しながら絵に表すことを楽しもうとする。

標準的な展開例

04080208_001

【準備等】画用紙，色画用紙，色鉛筆，クレヨン，パス，水彩用具一式

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 今までに読んだ本の中で、感動した場面を思い出し、作品の構想を練る。</p> <p>○教科書に掲載されている参考作品例を見て、感想を話し合う。(言語活動)</p> <p>○自分の選んだお話の中から、かきたい場面を選ぶ。 ★主人公になって、かいてみよう</p> <p>○スケッチをし、構想を練る。</p> <p>2 スケッチを基に、画面の組み立てを工夫して、下絵をかく。</p> <p>○画面構成を考えて下絵をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番かきたいものの様子 ・周りのものの様子 <p>3～5 主人公の気持ちを表すことができる表現を工夫しながら、彩色する。</p> <p>○彩色を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混色 ・重色 ・筆づかい <p>○中心になるものの調子を整えながら、彩色する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表情の工夫 ・色の工夫 <p>○全体の調子を整えながら、作品を完成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の形や色のバランス <p>6 印象に残ったことを話し合い、友達の作品を鑑賞する。(言語活動)</p> <p>○作品を紹介し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書3・4下 P. 32, 33 ・普段の生活の中から本を読む習慣を身に付けさせておく。 ・物語の絵をかくことを予告しておき、自分のかきたい物語を選んでおくようにする。 ・表されている場面だけではなく、どんな表し方の工夫をしているのかも作品から読み取るように提案する。 ・選んだお話について、自分がなぜ感動したのか、どんな気持ちになったのか、具体的に思い出させる。 ・気に入った場面をいくつか選び、アイデアスケッチをするなどして、かきたい場面を決める。 ・主人公となった自分の気持ちが伝わるような構想を練る。 ・どこにどんな色をぬっていくのかを、スケッチに色をぬらせるなどしてイメージさせる。 ・児童のかく場面を理解し、構図や表現の工夫など、今後の支援に役立てる。 ・下絵はスケッチを基に画面構成を考えてかかせる。 <p>・水彩絵の具だけでなく、貼り絵やクレヨン、色鉛筆などを活用してもよい。</p> <p>【評】思いを表現するために描画材料や筆づかい、色の特徴を生かす活動を通して、「発想や構想の能力」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体と部分の調子を感じ取らせながら、隣同士の色のつながりについても考えさせる。 ・途中で、自分の意図しているものが表現されているか、確認させる。 ・伝えたかったそのときの気持ちや思いを、本の紹介という形で、友達に伝えさせる。 <p>【評】友達の作品に込められた思いを感じ取る活動を通して、「鑑賞の能力」を評価する。</p>

【 備 考 】